

浸水はここまで

豪雨のため河川の氾濫や内水氾濫が起こり、浸水に見舞われることがあります。その時の浸水水位を示しておくことは、地域に住む人々に水害への意識を高めることとなります。高知県土佐清水市と徳島県美馬市の例をご紹介します。

■平成13年の高知西南部豪雨災害（高知県土佐清水市）

平成13年（2001）9月6日未明から早朝にかけて、秋雨前線と台風16号による豪雨のため、高知県西南部では各河川が氾濫しました。土佐清水市の宗呂川では、下川口観測所の水位が6日4時には0.60mとほぼ平常でしたが、その後水位が急激に上昇して7時には5.84mを記録し、観測所が水没して記録がとれなくなるほどの洪水となりました。宗呂川の浸水被害は床上浸水208戸、床下浸水25戸に及びました。下川口浦地区の区長さんは、4時過ぎに区長場からマイク放送で住民に避難を呼びかけた後、消防団員と連携して地区内の全戸を回り避難の状況を確認し、明るくなってからは首まで水に浸かりながら全戸の安否確認を行ったといいます。区長場には「浸水水位ここまで」という表示があります。<国土交通省四国地方整備局・高知県編「救ったのは人のつながり」2002年、高知県土木部河川課・防災砂防課等編「平成13年9月高知県西南部豪雨災害」2002年>



■平成16年の台風23号による浸水（徳島県美馬市）

平成16年（2004）10月20日13時頃、台風23号は高知県土佐清水市付近に上陸し、その後北東進し15時過ぎに室戸市付近に再上陸しました。徳島県の各地は大雨となり、吉野川では基準地点岩津の最大流量が約16,400 m³/sと推定され、戦後最大の洪水となりました。このため、池田から岩津の間にある無堤地区で吉野川の氾濫が発生するとともに、各所で内水氾濫による被害が発生しました。岩津上流の穴吹町（現美馬市）の被害は浸水面積63.3ha、床上浸水24戸、床下浸水49戸などに及びました。吉野川右岸の穴吹箇所の堤防には、階段の下から8段目に「平成16年台風23号」の実績水位プレートが設置されています。<国土交通省四国地方整備局編「吉野川水系河川整備計画－吉野川の河川整備（国管理区間）－【変更】」2017年、徳島地方気象台編「徳島県自然災害誌」2017年>

